

「人口減少」対策に全力

「平成27年度の主な施策(案)」

総合計画に定める多くの施策の実現のため、限りある貴重な財源で、防災・福祉・環境・産業・観光・教育など各分野にわたり、その礎を構築します。
地方創生の先行事業を盛り込む平成26年度補正予算と一体的に計画している平成27年度の施策(案)のうち、新規・拡大事業を中心に紹介します。

安全に安心して暮らせるまち

□ 福住防災公園整備事業

3030万円

出石地域に防災休憩所・倉庫のある防災拠点を整備します。

□ 北但大震災90年メモリアル事業※

219万円

災害の記憶を風化させないために、震災総合防災訓練などを実施します。

□ 消防団員報酬の一元化※

5914万円

各消防団で異なる団員報酬額を各階級別に統一します。

□ 豊岡健康福祉センター耐震補強等

1億958万円

耐震補強工事と外壁やトイレの改修工事を実施します。

□ 生活困窮者自立支援事業

2216万円

生活保護に至る前の自立支援策を強化します。

□ 生活支援体制整備事業

1800万円

地域住民やNPO、社会福祉法人などが介護予防や日常生活支援に参画する体制を整備します。

人と自然が共生するまち

□ 大規模太陽光発電所整備事業

4億5862万円

竹貫区(日高地域)の旧分譲宅地に、2期に分けて計約1100kwの太陽光発電所を整備します。

□ 加陽湿地拠点整備事業※

4337万円

自然再生・地域活性の新たな拠点として整備します。

□ 北但ごみ処理施設整備※

21億4448万円



▲ 団員報酬額が階級別に統一される消防団



▲ 自然再生拠点となる加陽湿地



▲ 城崎温泉を訪れる外国人観光客

北但1市2町で進める北但ごみ処理施設整備事業の豊岡市負担金を負担します。

□ 環境ポイント制度

129万円

「市民エコポイント制度」に代え、「健康ポイント制度」とポイントを共有する環境ポイント制度を設けます。

持続可能な「力」を高めるまち

□ 過疎地域戦略プロジェクトの推進

2億8129万円

城崎・竹野・但東地域で、過疎地域のやる気・元気を創出する事業を支援します。

□ 竹野ジオエリア拠点施設整備事業

1億3460万円

竹野北前館を山陰海岸ジオパーク竹野エリアの拠点施設として整備します。

□ 着物レンタル業支援事業

600万円

出石城下町を「着物が似合うまち」として定着させるため、拠点施設の改修整備や着物レンタル事業を支援します。

□ グリーンツーリズムプロジェクト事業

411万円

但東地域で農業や農村の暮らしを通じて「いのちの輝き

体験教育旅行」を強化します。

□ 但馬牛放牧事業

150万円

休耕田を活用した但馬牛の里地放牧をします。

□ 企業誘致の推進

9975万円

工場等の賃借料の補助で、企業立地を推進します。

□ 地域ごと支援事業

1500万円

人材育成のため靴縫製者トレーニング事業を補助します。

□ プレミアム付商品券発行事業

1億7804万円

豊岡市商工団体協議会が発行するプレミアム付商品券の発行事業と事務に補助します。

□ 人口減少対策事業

985万円

豊岡市版の「人口ビジョン」と「総合戦略」を策定します。

□ 但東地域人口減少対策事業

417万円

人口動態、未婚者、Uターン意向等を調査し、人口減少対策をモデル的に検討します。

□ 移住促進意向調査等事業

474万円

移住希望者の目的とニーズを把握し、本市を移住先に選んでもらうため、移住に関心

のある人の調査を行います。

□シテイプロモーション推進事業 841万円

仕事、子育て、遊びなど、豊岡で暮らす価値を再確認し、移住促進意向調査を基に全国に発信し、移住を促します。

□コウノトリ育むお米のブランド化推進 941万円

今年開催されるミラノ万博でPRします。また、輸出国の選考やテスト販売など、海外販売を開拓します。

□鳥獣害対策支援事業※ 392万円

市鳥獣害対策員の増員、わな猟シカ捕獲専任班の新設で捕獲体制を強化します。サル、クマ対策を推進します。

□城崎温泉街交通環境改善調査※ 2000万円

慢性的な渋滞の改善策を検討するため調査を行います。

□都市景観形成の推進※ 806万円

屋外広告物条例の普及啓発や「全国町並みゼミ豊岡大会」

開催の支援を行います。

□外国人観光客誘客プログラム事業 354万円

JR京都駅などでプロモーションを実施し、外国人観光客の誘致を促進します。

□DMO設立アドバイザーの派遣※ 300万円

DMO（観光まちづくり組織）設立に向けた体制整備を行います。

□無料WiFi整備事業※ 444万円

外国人観光客用に、無料WiFi環境を整備します。

□外国人観光客情報取得・分析事業 500万円

無料WiFi利用者の属性や行動経路などの情報を取得・分析し誘客につなげます。

□海外情報発信機能整備事業 108万円

ヨーロッパでの認知度向上・誘客促進につなげるためフランスでの情報発信機能の整備・充実を図ります。

未来を拓く人を育むまち

□こども支援センターの設置※ 1043万円

ふれあいセンター（塩津町）の機能を充実し、新たな教育



▲内野と外野が人工芝生化されるこのとりスタジアム



▲演劇を通じたコミュニケーション教育



▲海外販売を開拓するコウノトリ育むお米

機関として「こども支援センター」を設置します。

□英語遊び保育の推進※ 374万円

英語保育プログラムの検討、英語遊び指導員の配置、教材等の整備などを進めます。

□コミュニケーション教育推進事業※ 264万円

小・中学校5校をモデル校に指定し、演劇的な指導の手法を確立します。

□植村直己冒険館機能等検討事業※ 777万円

日本の冒険をリードする冒険者の拠点としての機能等を検討します。

□城崎国際アートセンター運営体制強化※1973万円

本市の芸術文化の国際的戦略拠点に位置付け、当面（5年間）市の直営とし、芸術監督などの専門職を配置します。

□芸術・文化のまちづくり推進※ 180万円

最先端の芸術文化の戦略策定アドバイザーとして、芸術文化担当参与を設置します。

□新市誕生10周年記念事業 人生を楽しむ お互いを支え合うまち

1401万円

新市誕生10周年を祝うため、市民みんなのパレードなどの記念事業をします。

□円山川運動公園の移転整備 12億4938万円

運動公園を土洩から下鶴井に移転するため、詳細設計・用地買収などを行います。

□新しい地域コミュニティ拠点整備※1億6428万円

西気・竹野南地区公民館の整備や日高地区公民館の耐震補強などを行います。

□地域プロデューサーの配置※ 3180万円

地域住民と共に地域の課題を解決する仕組みをつくるため、専門的知識を有するプロデューサーを配置します。

□このとりスタジアムの改修※ 1億7064万円

内野と外野の人工芝生化を行います。

□豊岡市民グラウンドの改修※ 2億2660万円

土のトラック（走路）を全天候舗装（ウレタンゴム製）にします。

※の施策は、10・11ページの「市政の動き3月定例報告」でも説明しています。